

トレイルランナーズ協議会（仮称）発起人会 趣旨

代表発起人：山西哲郎、鍋木 毅、石川弘樹、村越 真、三浦務

日程：2015年2月27日（金）18:00~20:00

会場：立正大学品川キャンパス 4号館 41A 教室（東京都品川区大崎 4-2-16）

トレイルランナーの活動にご理解いただきありがとうございます。
私たちがこのような会を作ろうとした趣旨を説明させていただきます。

■ なぜトレイルランナーズ協議会（仮称）なのか？

トレイルランナーも発言しよう。
そのためにトレイルランナーや関係者の意見を広く集めよう。
トレイルランナーの声を代弁しよう。

■ いま私たちは危機にある

トレイルランニングが急速に広まっている。
社会がトレイルランニング界との話し合いを求めている。
しかし話し合いの相手となるトレイルランナーの代表がいない。
このままではトレイルランナーが望まない方向に社会が進んでいきそうな流れがある。

■ 危機を乗り越えよう

トレイルランナーの声を社会に発言しよう。
トレイルランナーに関する窓口になろう。
トレイルランナーを正しく知ってもらおう。
社会の声をトレイルランナーにも伝えよう。

■ そのためには（この会の理念）

トレイルランナーの納得と共感を持って支持される。
→ 民主的なステップを大切にする。
社会の理解と納得を得る。
→ いろんな団体とのコミュニケーションをとる。

■ やるべきこと（この会の役割）

トレイルランニングに関する情報・意見の収集と議論。
トレイルランナーの声を集めて発言。

具体案

webによる情報の発信。
マナーコードの作成とマナー遵守大会の推奨。
シンポジウムの開催。セミナーの開催。
海外のトレイルランニング情報の収集と国際組織との連携。

■ この会の形

- ・実際に動ける組織にする
- ・委員、理事などが素早く動く。
- ・会員は団体（クラブ、大会主催者、法人）を基本とする
- ・個人サポーター制度をつくる。

未検討事項（今後の準備委員会を通じて作り上げる）

- ・総会など意思決定の方法
- ・委員会メンバーの選出方法
- ・サポーターへの報告方法
- ・組織形態（NPO 法人？ 一般社団法人？ 任意団体？）

■ 今後の予定案

2015年2月27日 発起人会

2015年4月11日（土）16:00

準備会 立正大学品川キャンパス（調整中）

■ この会の名称案

「トレイルランナーズ協議会」は仮称。
よい名称を提案してください。

■ 発起人の皆様へお願い

この会に賛同いただき、一緒に活動してください。
この会を多くの人に紹介してください。
この会に参加し、協力いただけるかたを推薦してください。立候補も歓迎します。
（準備会への参加、事務局として動く、など）

■ 最後に

トレイルランナーの声を集めて発言しよう。
そのために話し合おう。

発起人会名簿（あいうえお順）

石川弘樹、内坂庸夫、大内直樹、奥宮俊祐、鍋木毅、
北村ポーリン、佐藤光子、椎山宗一郎、高木智史、
武田渉、田中正人、忠政啓文、千葉達雄、福田六花、
松井裕美、松永絃明、眞船孝道、三浦務、村越真、
村松達也、山西哲郎、山本健一、横山峰弘、渡邊千春

事務局：三浦務、木村佳司、中尾益巳、船橋昭一
trailrunnerscouncil@gmail.com

以上

大阪府の佐藤光子氏からのメッセージ

村越さんから直接お話を伺い、とにかく参画させて頂こうと思いました。

残念ながら明後日の会には出席できません。

そこで、もし会議に参加できたならお伝えしたかったことを述べてみます。

正直に申し上げて

たとえば「トレイルランニング全国会議」^{日本}「日本トレイルランニング会議」と何が同じで何が違うのか、自分でも理解できていません。

何も他の動きと対立する必要もないと思いますが、なぜ今また「トレイルランナーズ協議会」なのか？私の周囲の一般愛好者にもできるだけ参加してほしいけれど、すでに疑心暗鬼の皆さんに、まだ私自身うまく説明できないと思います。

先日、村越さんにもお伝えしましたが、たとえば一般愛好者の意識も、また我々トレイルランナーを見る第三者(地元の人々、ハイカーなどのアザーユーザー)の意識も、地域によって随分違うと思います。さらに、ともすれば地方の人間は「自分たちにはわからない、中央だけでいろんなことが決まる」とやっかみがちです。

今の発起人だけでなくいろんな地域のメンバーに参画してもらった方がよいし、私も具体的に声をかけたい顔がいくつも浮かぶのですが、それもなるべく早い段階の方がよいと思いつつも、今のままでは人を誘えない気もします。

頂いた趣意書に書かれている一つ一つには賛同できるのですが、何か全体にぼんやりとした印象を受けました。

私の個人的な意見としては、思い切って活動内容の的を絞った方がよいのではないかと思います。トレイルランニング全般に…ではなく、たとえばマナーコードの作成とマナー遵守大会の推奨だけでもよいのではないかと。

「トレイルランナー・マナー向上委員会」とかどうでしょう。?

この部門だけのことを一所懸命にやる。このことに関する専門家集団になる。

ゆくゆくは、最初に述べた他の組織とうまく合流することも可能ではないかと思ったりしています。

長文、勝手な意見、大変失礼いたしました。

会議での活発な論議を期待しております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。